

みなべ梅ラーニングコモンズ活動報告会

みなべSDGs未来デザイングループ



パンフレット作成プロジェクト



みなべ梅ラーニングコモンズ

テーマ名:みなべSDGs未来デザイン

課題	SDGsとは、みなべSDGs未来都市とは、何のために何をするのか、それによってどんな未来が想像できるのか？が町民の皆さんに伝わっていない。SDGsやみなべSDGs未来都市が町民の皆さんの遠いところにあり、役場が何かやっているという印象になっている。
目標	SDGsとは、みなべSDGs未来都市とは、何のために何をするのか、それによってどんな未来が想像できるのか？を町民の皆さんにわかりやすく伝え、理解を促進し、みなべ町への愛着を自信を増すことに貢献する活動を行う。そのために、町民の皆さんに手に取っていただき読んでいただけるような「みなべ町のSDGs」をテーマにしたパンフレットを作成する。まず第一歩として、本グループメンバーが未来都市・SDGs・ウェルビーイングについての理解を深め、パンフレット作成プロセスにおいて町民の声を聞くことのできる機会を作り、みなべ町について自慢できる素敵などころと同時に課題をしっかりと把握する。“みなべのみらいをみんなで”を現実に実行できるような場作りを行なう。

令和7年度 活動実績	活動内容	成果	関係(連携)団体
	① パンフレット会議(6回開催: 2025/5/31, 7/21, 8/12, 9/5, 10/10, 12/1 @ みなべ町役場2階会議室) パンフレットを作る目的の深い部分で、メンバー含め全ての町民が愛着を持っている「みなべ町」がどんな場所だったらいいかシェアしあった望みを「みんなで一緒に」現実のものにしていくために「誰にもわかりやすい読みもの」としてパンフレットを位置付けた。	パンフレット会議メンバー(13名) でなんのためにパンフレットを作るのか、どんなパンフレットだったらいいのかを会議の前半で回を重ねてメンバーで議論し、目的を共有できたことがその後の町民の声を聞く具体的アクションの実施へとつながった。	
	② 町民フリーディスカッション(2回開催: 2025/9/9@みなべ町役場3階会議室, 11/11@生涯学習センター2階) 町の広報誌に広告・告知を出し、広く町民に自由に話ができる機会・パンフレット会議メンバーが町民の方の声を聴ける機会があることを知らせながら集客。当日集まった参加者に①SDGsとは、みなべ町SDGs未来都市とは何かを説明、②実行委員がやっていることの実例ならびにパンフレットチームがやってきたことの一例として「みなべ町がどんな場所だったらいいか」を紹介し、町民の皆さんとフリーディスカッション、③グループ毎に発表	町民の参加人数は少なかったものの、直接の声を聴く機会を作り声が聴けたこと、みんなでみなべ町の未来について話し合っってアイデアを出す時間を持つことの意義と価値を感じられたことは、会議メンバーにとって大きな意味があった。また、これらの活動に懐疑的・否定的な意見を持つ町民の方の声も聴ける場をどう作るかについての示唆が深まり以降のアクションアイデアにつながった。	
	③ はなきか(話を聞かせて!)第一回 with 農業振興協議会 (2026/1/20 @みなべ町役場3階会議室) 農業関係者や住民が日頃感じている課題やみなべ町に対する率直な意見を共有することを目的として開催。みなべ町SDGs未来都市は「今の農業や暮らしを否定するものではなく、将来もみなべ町で農業と暮らしを続けるための土台づくり」であることを説明。参加者からSDGsそのものへの認識、バイオ炭への評価、農業の最大課題(経営と人)、参加のしづらさと梅ラーニングコモンズ(運営)への意見・感想について話した	参加者:12名、パンフ会議メンバー:5名 みなべ町にとって最も重要な産業である農業(梅産業)に従事する参加者からの率直な声を直接聴くことのできた貴重な機会。特に、現在のラーニングコモンズの運営についての声(意思決定の仕組みが不明確、目的と魅力が明確になれば手伝いたいという人は多いはず)は今後の大きな参考になる。	農業振興協議会
	④ UME-1ブース出店(2026/2/8 @保健福祉センター前特設スペース) 未来デザイン・パンフレットチームから発案し他チームにも声をかけて、これまでのみなべ梅ラーニングコモンズ各チームの取り組みをUME-1にて展示。町民の方の声を聴く場の一つとして「みなべ町の未来を考えてみよう!」という企画(大きな梅の木に、梅の花の形をした付箋に臨む未来を描いて貼っていただく)を実施。多くの素敵な声・アイデアが寄せられた。	パンフレットチームを含め、実行員の活動を町民に直接知ってもらえる機会を最大化できたこと、みなべ町の未来について考えてもらう体験とそれが視覚的に認知される機会を作ることができたことはパンフレットプロジェクトの成果の一つと言える。	UME-1

振り返りと今後の展望	2025年度の未来デザインの活動のフォーカスであった「みなべ町SDGsパンフレット作成」の現実化に向けた活動を継続。パンフレットプロジェクト実行メンバー間のつながりの強化と目的の共有に時間を使ったことが、「町民フリーディスカッション」や「はなきか(話を聞かせて!)」の実施につながった。特に「はなきか」については、より率直な声を聴くためのアクションとして実施を計画し、2025年度内に初回を(梅郷クラブは辞退)、2回目を2026/4/14に青年クラブと実施でき、今後計4回程度実施してパンフレットの具体的な方向性を決め、みなべ町民にとってわかりやすく意味と価値あるパンフレットを作る。パンフレットを作る過程の中で、1人でも多くの住民の方の声を聴くことのできる場を作ること自体が大きな意味を持つと実感。また、この一連の活動が「みなべウェルビーイング指標調査結果」に対するアクションと連携・連動する必要があると考えている。
------------	---



パンフレットチームを結成

パンフレット会議(6回実施)

Page 1

2025年5月31日 19:00-20:30 @ 生涯学習センター3階会議室

第1回みなべ町SDGs未来都市実行委員会・未来デザインチームによる「SDGsパンフレット作成」について

目的： みなべ町ならではの！
みなべ町だからこそ！の
SDGsを町民がより理解・腹落ちできるようなパンフレットを作るための会議

意図： 役場とか町民とか外部とか専門家とかではなく
実行委員だから・やりたいからみんなでやる (one teamマインドセット)

参加者： 役場メンバー： 尾崎課長(政策推進課)、瀧川さん(たっきー)、土井さん(けんちゃん)、
町民メンバー： 堀口さん(千草さん)、山本さん(貴子さん)、宮本さん(ともちゃん)、
坂本さん、山本さん(やっさん)、真道さん、島田
専門家： 大和田先生(順ちゃん)

アジェンダ：
0.自己紹介
1.なに(What)をする？
2.どんなパンフレットだったらいい？
3.どう(How)やる？

Page 2

1.なにをする？

「パンフレットを作る」：HP/SNSにも同時に同じデータを掲載

Q：なんのために？
→ 町民にSDGsを充分に周知するため・みなべ町がSDGs未来都市モデル事業になったことを周知するため

Q：周知する「SDGs」とはどういうこと？
→ ① SDGs未来都市に選定されたこと+モデル事業になったこと
② SDGs自体(若い人の方が分かってる・SDGsはやらないとならないこと)
③ ①に対して何をやるのか/何をやっているのか(これがわかると実行委員が活動しやすくなる)
④ みなべ町の魅力
⑤ 住民主体でやること：自分ごとであること

Q：SDGs/みなべ町SDGs未来都市が町民に周知されるとなにか起きる？
→
・みなべ町が華やかになる/笑顔が増える
・人がみなべ町に集まってくる
・自分たちの未来は自分たちで作っていく！モチベーション↑
・意識上がる
・みなべ町を誇りに思える
・実行委員会に入る人が増える
・町民が活動ができる・楽しいことだけでなく便利なことを捨てて不便なことを進んでいく・引き受けていくマインドになる

このためのツールの一つがパンフレット

Page 3

2.どんなパンフレットだったらいい？

- 印刷物は有効
- 手元においてもらえるようなもの
- 観光協会のパンフレットが参考になる
- 自分たちが(みなべ町で、毎日の生活の中で)すでにやっていることがSDGsだとわかる：いろいろな事業等に紹介し17のゴールを結びつける
- わかりやすい(難しいのはだめ)：かわいいイラスト、差しみややさしい
- ハードルを下げる： やっていることを表現する→みんなが理解する→喜びたい!にNext Stepがあるようにする
- 実行委員の活動を掲載できる：なぜSDGs未来都市に選定されたのか?なぜモデル事業なのか?なにをやっているのか?
- 手にとってみたいくなる→参加・参加したくなる・関わりたくなる
- より身近に感じられる
- 名刺大の大きさのもの+QRコード：配りやすさ、斬新さ(映像が出るとか)
- 一冊の冊子よりA41枚の毎月連載で伝えていく：町民だより!実行委員のコラム欄作るとか

*自分たちがやっていることがすでにSDGsであることのエビデンスを集める：うめ研究所のデータなど

*興味・関心を持った人がアクションを起こせる"Next Step"があることが大事

こんなパンフレットができたらなにが起きる？

<1回目> 初回で決めた会議の目的と意図を毎回確認

<1回目> 自分たちは何をやるチームなのか・なんのために集まっているのか・なぜパンフレットなのかを初回に深く議論

Page 4

こんなパンフレットができたらなにが起きる？

- 50年前のみなべになる
 - 南部川はどこまで泳げた
 - 魚でいっぱい・うなぎも獲れる
 - にぎやか
 - 活気にあふれる
 - 元気な世代が増える
- 子供が帰省して楽しいと思える町になる
- 親世代が楽しくやっている
- 街全体の環境が良くなる
- もっと人を連れていきたいと思う
- 祭りも会議も活発になる
- ワクワクしている
- SDGsを共通言語として語り始める
- みなべ町への注目が増す
 - 視察や研修が増える
- 40年前にはあったりりしさが戻る：目標・覚悟・誇りのようなもの
- 医療費が下がる

<1回目> 私たちが望むみなべ町の未来を言語化

Page 3

2.さあ、なにをする？

① パンフレットチームでまず知る・学ぶ

1. SDGs17のゴールを知る
2. みなべ町SDGs未来都市計画(←順ちゃん力作だよ!)をしっかりと読む
➢ 2024年8月に一般公開されている

② パンフレットチームでラフディスカッションする

- 自分たちがやっていることがすでにSDGs!
- ✓ ディスカッション1：17のゴール
 - みなべ町内にあるヒト・モノ・コトと17のゴールを結びつけてみる
 - “このゴールってこういうこと!”
 - “これってこのゴールじゃない?”
 - カテゴリー別にまとめてみる?
 - 横断バージョン
 - 縦断バージョン とか
- ✓ ディスカッション2：みなべ町のSDGsってなんだろう?

*ディスカッションから出てくるものを大切に

<2回目> 1回目に合意・共有したことに基づいてこれから具体的に何をやるのかを議論

Page 4

1.さあ、なにをする？

③ “フリーディスカッション”-みなべ町のSDGsってなんだろう? -開催

- 町民に公開する：広報誌に折込チラシ入れる(折込作業はパンフレットチームみんなでやる予定)
- 平日夜19-21時・3回くらい実施のイメージ
 - 9月から毎月(9・10・11月)
 - まず9月にやってみてその後の決める
 - 第一回9月9日(水)19-21時
- グラレできる人募集する
 - 南高の美術部の生徒さん
 - みなべ町在住の高校生・大学生でグラレコできる人

【確認したいこと】

- ✓ 9/9開催のための折込チラシのデザインはいつまで?
- ✓ いつの広報誌に折込入れる?
- ✓ 折込作業はいつ?



パンフレットチームを結成

パンフレット会議(6回実施)

Page 2

2. フリーディスカッション with 町民「みなべ町のSDGsってなんだろう？」を展開するために

- 3回やる？
 - ① 9/9(火) 19-21時 <確定>
 - ② 10月(1-2回)：この時には場所・環境を変えてやるのも良いかも(例：地区別、女性会・・・)
 - ③ 11月？
- SDGsに関心ある人もそうじゃない人も町民みんなの本音をどう引き出す？
 - 説明中心はダメ
- 1回目の9/9のためにパンフレットで話しておく
 - その内容を軸に9/9にシェアするような形で進める
 - 「やり方」が分かって今は「おいておけり」態がある：知らない間になっている・やっているという印象
 - みんなでやっている・一緒にやっている・含んでいる/含まれているという感覚があること
 - 行政だけではなく、町民主体と感じる場づくり
 - 例：若い人たちがイオ食品について熱心に取り組んでいる姿を見て関心を持った
 - 例：いいことばかりでなくダメなこと、足りていないこと、課題についても知らせることで関心を持った
- 古来からずっとやっている・すでにやっていることを議論する場にする
 - ハードルを高くせず、みなべって結構すごいよ！が伝わるように：シビックプライド↑
 - この結果、今やっていることと変わっていないことがわかってアクションにつなげられる

認識→Action

Page 3

2. フリーディスカッション with 町民「みなべ町のSDGsってなんだろう？」を展開するために(con't)

- みなべの毎日のどんなことがSDGs？
 - <すでにあるGoodなこと>
 - 青ネット(※8, ※9)：農家が広い面積で栽培できるようになった・産地を支えて梅産業が大きくなったのは青ネットのおかげ
 - 梅で健康(※3)
 - 有機肥料(※12, ※1)：廃棄するものを活用している・お金になっている
 - 島ノ瀬ダムの水力発電(※7, ※13)：南紀用水に5,000万円/年間の発電している(このことを有田川村のようにもっと発信するべき！)
 - 隣の温泉の湯が冷(※7, ※15)：間伐材を燃料としている・森林組合が薪を売っている
 - 梅産量はすでに全廃している：つくろ→加工→売る(※8, ※9, ※12, ※1)
 - ウミガメ(※14)：産卵期の6月は梅に夢中&経済的に豊かだから観光資源になかった
 - 病院が建てる(※3)
 - <まだないNot Goodなこと>
 - ジェンダー平等(※5)：女性の活躍も見られるが、まだ責任を伴うことやそういう役割には女性がいない

Page 4

※次回リアルmtg
9/5(金) 19:00-21:00 @ 役場2階会議室

- この日のアジェンダは2回のパンフレットでラフディスカッション& 9/9(火) 住民セッションの準備
- なのどの日までに各自やる
- SDGsの17のゴールが何か見ておく
- それぞれのゴールと結びつくみなべ町の何か(ヒト・モノ・コト)を考えてくる
- みなべ町SDGs未来都市計画書を各自しっかり読んでくる(ここからダウンロードできます)
 - https://www.town.minobe.lg.jp/tyoussai/12/files/minobe_SDGs_plan.pdf
- 9/9実施に向けて当日をイメージしておく

※グループLINE名
みなべSDGsパンフレットチーム

<3回目> 町民の声を聴く場としてアイデアのでたフリーディスカッションについてその目的と当日をどんな場にしたいか議論

Page 2

2. フリーディスカッション with 町民「みなべ町のSDGsってなんだろう？」当日の進め方

- 9/9当日をどんな場にしたい？
 - 話しやすさ、意見の出しやすさ
 - ゆるい、気軽に
 - SDGsは「グローバル」なゴールだから、みなべの中だけのことでなくみなべが日本・世界にできることも考えるべき
 - みなべ町の地図を見ながら「ここにこんなものがあつたらいい」「これがこうなつたらいい」をみんなでわちゃわちゃ話したい
 - みなべがどうなつたらいいか、みんなで夢や希望をシェアする(初回のパンフレットでやったみたいに)
 - みんなで意見をいう→その意見が話している状況が目に見えるようにする：AIで絵を描く
 - なんでも言える場：否定的な意見こそ欲しい(本来は言にくいものだから)
 - 学習性無効感ではなく、学習性楽観主義をここからスタート！楽観主義でいく！
 - 具体的なアイデアを出し合いながら話す
- 前提が大事
 - 9/9の2時間の目的を明確に伝える
 - みなべ町ならではのみなべ町だからこそ！の「SDGsを町民がより理解・理解できるようなパンフレットを作る」ため
 - 町民の皆さんの意見・アイデアを聞くため
 - みなべ町よ！(=ウエルビーイングな)未来をみんなで作るため
 - そのために町民の皆さんに「SDGs」「SDG未来都市について」「実行委員会がやっていること」をもっと知ってもらおう
 - みんなみなべの未来を明るくすることを望んでいる、みなべへの思い・愛はある
 - パンフレットがウエルビーイングに！

Page 3

※次回リアルmtg
9/9(火) 町民フリーディスカッション
「みなべのSDGsってなんだろう？」
19:00-21:00 @ 役場2階会議室

<グラウンドルール>

- 長く：聞き方を意識してみる
- パンフレットチーム全員でやる
- みなべで意見を言い合う
- どんな意見も全部OK
- パンフレットチームがウエルビーイングに！
- 話しやすい場づくり

※グループLINE名
みなべSDGsパンフレットチーム

9/9当日はみなべ町の地図を見ながら具体的なイメージを膨らませるセッションに！

<4回目> 第1回町民フリーディスカッション当日の内容と流れを議論



SDGsに関心がある人もそうじゃない人にも

はなきか(話しをきかせて!)を開催

フリーディスカッションの反省を踏まえて、他団体とのディスカッションを開催。

- ✓ 新たな参加者が少なかった
- ✓ 行政主導の会としてのやり方
- ✓ オープンにやり続けることに意義がある
- ✓ 楽しそうに皆が意見出しあえた

ディスカッションで出た意見をまとめると

1. SDGs未来都市の進め方
2. 農業の持続性・産業構造
3. 新規就農、若手参入のハードル
4. 意思決定や運営体制への要望
5. 情報発信、見える化への要望
6. 予算やお金の流れの透明性
7. バイオ炭

SDGs意見交換会(with 農業振興協議会)

令和8年1月20日(火) 午後7時00分から
みなべ町役場3階大会議室

参加者数 12名、事務局 5名

会議要約(意見交換)

1. 会議の目的・趣旨

- みなべ町が進める「SDGs 未来都市計画」について、結論や方針を決める場ではなく、農業関係者や地域住民が日頃感じている課題や率直な意見を共有することを目的として開催。
- 「今の農業や暮らしを否定するものではなく、将来もみなべ町で農業と暮らしを続けるための土台づくり」という行政側の説明があった。

2. 行政からの説明(SDGs 未来都市計画)

- みなべ町は令和6年度から「SDGs 未来都市」に選定。
- 農業は町の基幹産業・強みと位置づけ。
- 主な課題認識:



つかけと説明。



UME-1ブース出店(2026/2/8)

みらいの夢を咲かせよう:たくさんの人が夢を書いて貼ってくれました



- ・梅ラーニングコモンズ各グループの取組紹介
- ・梅しょうばん茶、梅ジュースのふるまい
- ・ガチャポンで当たると似顔絵を描いてくれる
- ・大阪キリスト教短大アジア留学生の皆さんも訪問

梅の木の制作は南部高校美術部、美術授業選択生の皆さん